教育方法
Teaching Methods

KODAMA Keiichi
児玉 佳一

科目ナンバリング：UTL-2-311-04

■授業の目的及び到達目標
教育の方法と技術、教育機器及び教材の活用について、法令や学習指導要領の知識、指導技術、具体的な事例に基づく実践等を通して、授業に必要な実践的指導力を身に付けることを目的とする。免許取得教科の学習指導案を作成するために必要な指導計画、教材の取扱い、指導技術、学習評価等の知識・技術を修得・活用できるようにすることを到達目標とする。

■授業計画
1 教育方法の意義
授業改善による教育改革を例に、教育方法を学ぶことの意義や重要性を認識させる。
2 授業における指導技術①発問
授業における会話の特徴を示し、わかりやすい説明や指示、効果的な発問の仕方等について、具体的な事例を通して検討する。
3 授業における指導技術②コミュニケーション
フランダースの相互作用分析を紹介しながら、授業におけるコミュニケーションの在り方について検討する。
4 授業における指導技術③板書
授業における板書の意義、機能及び手法、ノート指導と机間指導の意義等について、具体的な事例を通して検討する。板書とＩＣＴを活用する授業展開の違いについても触れる。
5 障害への対応
ＬＤ及びＡＤＨＤの生徒の特徴や指導上の配慮について解説し、学習指導上の支援の在り方について検討する。自尊感情を高める指導についても触れる。また、高機能自閉症の生徒の特徴及び指導上の配慮について解説し、学習指導上の支援の在り方について検討する。個別指導計画に基づく組織的な対応について取り扱う。
6 創造性を育てる授業の工夫
学習指導要領等における「創造性」の位置付けや、知識基盤社会に対応した諸外国と日本の例を考察する。日本の知的財産を想像する力と日本の技術力について理解を深める。
7 体験的な学習
「体験的な学習」の効果と体験を通して感性を育てることの意義を解説し、事例を通してその指導方法を検討する。事例は、身近な本学の学生の調査結果を参考に分析したものを活用する。
8 学習指導要領の変遷と目指す教育の方向性
学習指導要領の変遷をたどりながら、現行学習指導要領が目指す教育の方向性について解説する。学習指導要領が示す学力の捉え方、学力観の変遷、学力の国際比較等を通して、学力観について解説する。
9 多様な指導形態
個別指導、グループ指導、習熟度別少人数指導、ティームティーチングなどの指導形態の特徴と効果について検討する。主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善の在り方について、事例を通して検討する。
10 一斉指導と個別指導
一斉指導の意義と課題について解説し、一斉指導の課題を解決するうえで必要な個人差への対応、受動性の解消について検討する。
11 問題解決学習及び学習の見通しと振り返り
経験主義の考え方や生涯学習の視点に立ち「問題解決学習」の意義を解説し、事例を通してその指導方法を検討する。総合的な学習の時間の意義についても取り扱う。学習の見通しと振り返りについて事例を通して解説する。
12 学校図書館の活用と読書活動
学校図書館の活用と読書活動の推進の意義を解説し、具体的な事例を通してその指導方法を検討する。
13 言語活動と学修のまとめ
「言語活動」の意義を解説し、事例を通してその指導方法を検討する。ＰＩＳＡ型読解力についても触れる。また、これまでの内容について、論述形式の試験を行い、フィードバックとして解説する。

■授業の方法
毎回テーマを定めて、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。講義では、教育課題、教育理論、実態を表すデータ、事例、法令知識を提示しながら進めていく。

■予習・復習
・ブラックボードシステムに示した教材に事前に目を通しておく(１時間程度)。
・授業で指示した課題を整理し、自分の考えをまとめ提出する(１時間程度)。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）
課題の提出状況から授業への取組を評価する。論述形式の試験を行い、到達度を評価する。
試験７０％、学修への取組状況（課題の達成状況等）３０％

■教科書・参考書
参考書：文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総則編』、文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説総則編』を使用する。授業内で作成資料を配布し、指示する。

■関連する科目
「教職論」の振り返り、及び「教育実習(事前・事後授業)、「教育実習I・II」の履修につなげる。